



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月11日

上場会社名 丸八倉庫株式会社 上場取引所 東
コード番号 9313 URL <https://www.maru8.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮沢 浩元 (TEL) 03(5620)0809
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	3,721	△0.3	464	10.8	481	10.3	318	3.5
2023年11月期第3四半期	3,734	4.9	418	△3.9	436	△3.0	307	14.1

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 502百万円(18.0%) 2023年11月期第3四半期 425百万円(39.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	53.75	—
2023年11月期第3四半期	51.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	18,056	11,503	63.6
2023年11月期	18,290	11,096	60.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 11,475百万円 2023年11月期 11,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	2.6	600	4.4	585	△0.0	900	118.3	152.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年11月期3Q	7,300,000株	2023年11月期	7,300,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年11月期3Q	1,378,807株	2023年11月期	1,378,807株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年11月期3Q	5,921,193株	2023年11月期3Q	5,921,194株
-------------	------------	-------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復傾向にて推移しました。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続等の影響により海外景気の下振れリスクが高まりつつあるほか、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響から内外経済の動向は不透明感が拭えない状況にあります。

このような経済情勢にあって、物流業界におきましては保管残高数量が前年を下回る水準にて推移したほか、人手不足等に加えて燃料価格をはじめとする物価高騰等により全般的にコストが上昇しており、競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましても、景気動向等の影響に伴い、賃料水準や需給関係の各データは総じて弱含みにて推移しております。

このような状況の下、当社グループは、内外の環境変化に的確に対応しながら、さらなる成長を果たしていくために新中期経営計画（2022－2026）の具体的各施策を展開してまいりました。物流事業における具体的施策としては、既存倉庫の稼働率は安定的かつ高い水準にて推移しており、各種経費の削減にも取り組んできたほか、保管料や荷役料の料金適正化を進めており、営業収益の確保に努めてまいりました。また、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。このほか、埼玉県所沢市の新規倉庫ならびに千葉県八街市の新規文書保管センターも本格的に稼働開始となり、将来の収益力増強に向けて事業基盤の増強も図られつつあります。不動産事業における具体的施策としては、賃貸マンションや賃貸オフィスビル等が安定的に稼働しており、不動産賃貸料収益の増加に努めてまいりました。

この結果、売上高は物流事業収入・不動産事業収入ともに前年を下回り、前期比12百万円（0.3%）減の3,721百万円となりました。また、営業利益は各種経費の削減に努めた結果、前期比45百万円（10.8%）増の464百万円となり、経常利益は前期比44百万円（10.3%）増の481百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比10百万円（3.5%）増の318百万円となりました。なお、新中期経営計画の主要指標であるEBITDA（償却前利益）は前期比41百万円（4.9%）増の893百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、荷役料収入が前年同期比で増加したものの、保管料収入・雑収入等が減少したことにより売上高は前期比11百万円減の3,246百万円となり、セグメント利益は前期並みの529百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、賃貸マンション・賃貸オフィスビルが安定的に稼働したことにより売上高はほぼ前期比並みの474百万円となり、セグメント利益は経費削減効果等により前期比29百万円増の231百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金等の減少により、前期末比234百万円減少の18,056百万円となりました。負債は、長期借入金の返済等により前期末比642百万円減少の6,552百万円となり、純資産は前期末比407百万円増加の11,503百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2024年7月5日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。詳細は2024年7月5日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益発生並びに2024年11月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,646	896,969
受取手形及び営業未収入金	314,190	319,235
その他	91,104	96,811
流動資産合計	1,468,941	1,313,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,947,572	7,626,048
機械装置及び運搬具(純額)	378,239	347,588
土地	5,969,348	5,969,348
その他(純額)	124,627	112,895
有形固定資産合計	14,419,788	14,055,880
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	28,627	22,678
無形固定資産合計	100,999	95,051
投資その他の資産		
投資有価証券	1,557,502	1,821,600
差入保証金	440,651	437,832
会員権	9,978	9,978
退職給付に係る資産	127,506	146,785
繰延税金資産	18,019	17,875
その他	147,338	158,044
投資その他の資産合計	2,300,997	2,592,116
固定資産合計	16,821,785	16,743,048
資産合計	18,290,726	18,056,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	122,159	130,082
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	772,940	742,940
未払金	5,523	15,864
未払費用	106,718	41,905
未払法人税等	143,483	56,398
未払消費税等	150,684	40,577
前受金	190,747	233,799
賞与引当金	-	25,927
その他	9,414	17,348
流動負債合計	1,601,671	1,404,844
固定負債		
長期借入金	4,266,834	3,732,129
繰延税金負債	581,203	662,070
役員退職慰労引当金	123,460	131,116
長期預り保証金	599,276	600,024
その他	22,187	22,187
固定負債合計	5,592,962	5,147,527
負債合計	7,194,633	6,552,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	7,275,609	7,499,155
自己株式	△1,189,964	△1,189,964
株主資本合計	10,660,181	10,883,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,667	591,898
その他の包括利益累計額合計	408,667	591,898
非支配株主持分	27,244	28,066
純資産合計	11,096,093	11,503,692
負債純資産合計	18,290,726	18,056,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,734,273	3,721,425
売上原価	2,871,803	2,834,703
売上総利益	862,470	886,722
販売費及び一般管理費	443,510	422,518
営業利益	418,960	464,204
営業外収益		
受取利息	57	146
受取配当金	38,957	36,473
補助金収入	2,750	1,452
その他	2,332	2,459
営業外収益合計	44,097	40,531
営業外費用		
支払利息	25,913	23,159
その他	566	-
営業外費用合計	26,479	23,159
経常利益	436,577	481,576
特別利益		
有形固定資産売却益	30,841	454
特別利益合計	30,841	454
特別損失		
有形固定資産除却損	0	4,420
特別損失合計	0	4,420
税金等調整前四半期純利益	467,419	477,611
法人税等	159,113	158,504
四半期純利益	308,305	319,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	751	821
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,554	318,285

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	308,305	319,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117,458	183,231
その他の包括利益合計	117,458	183,231
四半期包括利益	425,764	502,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,012	501,516
非支配株主に係る四半期包括利益	751	821

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,020,847	25,388	2,046,235	—	2,046,235
その他の収益	1,237,731	450,306	1,688,037	—	1,688,037
外部顧客への売上高	3,258,578	475,694	3,734,273	—	3,734,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,258,578	475,694	3,734,273	—	3,734,273
セグメント利益	529,225	201,589	730,815	△311,855	418,960

(注) 1. セグメント利益の調整額△311,855千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,018,209	23,693	2,041,903	—	2,041,903
その他の収益	1,228,719	450,802	1,679,522	—	1,679,522
外部顧客への売上高	3,246,929	474,496	3,721,425	—	3,721,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,246,929	474,496	3,721,425	—	3,721,425
セグメント利益	529,977	231,402	761,380	△297,176	464,204

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,176千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	432,758千円	429,335千円